

## 浜の活力再生広域プラン

## 1 広域水産業再生委員会

組織名	兵庫県広域水産業再生委員会 瀬戸内海養殖業広域部会
代表者名	部会長 山田 隆義

広域委員会の構成員	<p>兵庫県地域水産業再生委員会30部会</p> <p>神戸市漁協部会、明石浦部会、林崎部会、江井ヶ島部会、東二見部会、西二見部会、播磨町地区部会、東播磨部会、高砂地区部会、姫路市漁協部会、家島部会、坊勢部会、室津部会、相生漁協部会、赤穂市部会、由良町漁協部会、洲本炬口漁協部会、津名漁協部会、仮屋漁協部会、森漁協部会、富島漁協部会、浅野浦漁協部会、育波浦漁協部会、室津浦漁協部会、一宮町漁協部会、五色町漁協部会、湊漁協部会、南あわじ漁協部会、福良漁協部会、南淡漁協部会</p> <p>岩見漁業協同組合</p> <p>兵庫県漁連、兵庫県信用漁連、兵庫県</p>
オブザーバー	(株)東海屋

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>〔地域の範囲〕</p> <p>神戸市、明石市、播磨町、加古川市、高砂市、姫路市、たつの市、相生市、赤穂市、淡路市、洲本市、南あわじ市</p> <p>〔漁業の種類〕</p> <p>ノリ養殖、カキ養殖、ワカメ養殖、ヒジキ養殖、魚類養殖、アサリ養殖、その他貝類養殖、等</p>
-------------------	--

## 2 地域の現状

## (1) 地域の水産業を取り巻く現状等

兵庫県瀬戸内海側では、地域の自然環境や海域特性に応じて、ノリやワカメ等の藻類養殖、カキやアサリ等の貝類養殖、トラフグやハマチ等の魚類養殖が営まれている。

養殖業は、対象生物の生育に不向きな環境下では経営が成り立たないため、本来、漁船漁業と比べて比較的安定した生産が可能な漁法であるが、主力のノリ養殖やカキなどの貝類養殖は、無給餌養殖のため、海中の栄養塩などの漁場環境に大きく左右される。養殖期間中は養殖セットが展張されていることから漁船漁業の操業ができず、水産資源の保護育成などの役割を果たしている。

県養殖業生産額の8割を占めるノリ養殖においては、近年の生産量は4.6万トン(11億枚)、生産金額は90億円であり、10年前に比べると生産金額が42%減少している。本県のノリは、主に業務用として流通しているため、一般消費者の認知度が低く単価に反映されにくいこと、近年の海洋環境の変化による栄養塩不足によってノリの色落ちが頻発して品質や生産枚数が不安定な状況にあること、高水温により漁期の短縮を強いられていることなどが影響している。さらに、経営面では漁場環境の影響で収入(生産量)が変動する一方、刈取船や船外機、乾燥機や上屋等に多額の設備投資が伴い、燃油代や機械整備費、ノリ網代、水道光熱費等の多大な支出が必要であり、利益の減少に繋がっている。

また、燃油をはじめ資材に石油製品を多用する漁業の構造的な特性から、国際情勢により上下する原油価格が、漁業経営に強く影響を与えている。

県養殖生産金額の約2割を占めるカキ養殖については、大粒で加熱しても縮みにくいのが特長であり、1年余りで出荷サイズとなることから、高品質な一年生カキとして市場の評価を受けており、生産も比較的順調に推移している。しかし、種苗の大半を他県産に依存しているため、種苗の品質が悪かったり不足したりする場合にはその影響を受けやすく、養殖業者の経営不安要素の一つとなっている。

こうしたことから、少子高齢化が進む中、若年層が漁業に将来を見出すことができず、漁業者の高齢化や後継者不足、ひいては、漁業者数の減少という問題に繋がっている。

【参考：兵庫県瀬戸内海区の養殖業の生産量と生産金額】

	10年前 (H15年度)	5年前 (H20年度)	現在 (H25年度)
ノリ養殖業	66,161 トン	32,864 トン	45,879 トン
	1,654,037 千枚	821,589 千枚	1,146,979 千枚
	15,620 百万円	6,941 百万円	9,027 百万円
カキ養殖業	6,696 トン	3,952 トン	8,903 トン
	1,606 百万円	1,029 百万円	2,293 百万円
養殖業計	75,945 トン	39,074 トン	58,049 トン
	18,490 百万円	9,126 百万円	12,745 百万円

※出典先は「兵庫水産業の動き」

※ノリ養殖業の生産量は生換算重量、カキ養殖業の生産量は殻付き換算重量を用いている。

※H25年度の養殖業計（生産金額）は兵庫県計と同数とした。

※H20年3月のゴ-ルトリーダ-号の油流出事故が発生し、漁業被害を与えている。

(2) その他の関連する現状等

■本格的な人口減少社会の到来

県の総人口は2009年（平成21年）の560万人をピークに減少に転じ、2040年（平成52年）には現在より約90万人少ない467万人（10年比16%減）となる見込み。また、高齢者の比率が高まり、2040年には65歳以上人口比率が36%（10年＝23%）、75歳以上人口比率が21%（10年＝11%）となる見込み。

■進む人口の偏在化

神戸、阪神地域などの都市部を含めて、県内全域で人口が減少しつつあり、人口減少のペース、減少割合は地域差が大きく、特に但馬、西播磨地域では2040年には現在の6割を切る水準にまで人口が減少する市町が生じることが予測されている。14歳未満の年少人口は全ての市区町で減少する一方、65歳以上の老年人口は阪神地域などでは現在の約2倍にまで増加するなど、人口の高齢化、偏在化が進むと予測されている。

■津波・高潮防災対策の推進

津波や高潮による被害から漁業者や地域住民の生命・財産を守るため、老朽化等により機能が低下した防潮堤などの海岸保全施設の機能強化や、浸水の恐れがある地域の海岸保全施設の新設及び改良などの津波・高潮防災対策が進んでいる。特に近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震等による津波対策については、「津波防災インフラ整備計画」に基づき計画的に実施される。

### 3 競争力強化の取組方針

#### (1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

##### 1. 基本方針

平成26年3月に兵庫県地域水産業再生委員会及び各部会を設置し、その後「浜の活力再生プラン」を計30プラン策定し、①漁業収入向上のための取組として、魚価の向上対策や養殖業の振興、漁場の回復と漁業後継者の育成などに取組んでいる。また、②漁業コスト削減のための取組として、漁業経営セーフティネット構築事業の加入促進を行っているほか、効率的な操業体制の確立や省エネ操業の推進や省エネ機器の導入を図り、漁業所得向上を目指している。この既存の「浜の活力再生プラン」と当該広域プランを連携して行うことで、相乗効果を狙うこととする。

##### 【流通販売強化】

##### ①-1 ノリやカキ等の流通促進・消費拡大

- ・ 県内養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやカキ等の水産加工品をJF直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、ノリ関係商社や生協等の量販店に対して積極的にPRし、販売促進・消費拡大を図る。
- ・ 県内養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやカキ等の水産加工品を様々なイベントで消費者等へPRし、消費拡大を図る。
- ・ カキについては、カキ祭り等販売促進イベントにより、地元での知名度は上がってきたが、首都圏を含む大都市では、生産者個人がPR販売を行っている程度であり、流通業者や消費者への知名度が低いことから、県内養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、播磨灘産のカキを統一ブランドでPRし、利明度向上と販売促進・消費拡大を図る。

##### ①-2 ノリやカキ等の新商品開発

- ・ ノリの消費拡大を図るため、ノリ養殖関係JF及びJF兵庫漁連、(株)東海屋等が連携し、県内ノリ養殖漁業者が生産したノリを用いて、ノリの新商品(板ノリ加工品、生ノリ原料加工品、干ノリ原料加工品)の開発に取り組むとともに試験販売を行う。
- ・ カキの消費拡大を図るため、現在の垂下式養殖で生産するむき身及び殻付きカキを基幹としながら、生食可能海域で生産する優位性を活用し、シングルシード方式による「純兵庫県産プレミアムかき」の開発など、あらたな商材の開発及び販売ルートの確保を進める。また、カキ養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、県内カキ養殖漁業者が生産したカキを用いた加工品の開発に取り組むとともに、試験販売を行う。

##### ①-3 価格形成力の高い出荷体制を促進(出荷用施設整備など)

- ・ 養殖カキについては、兵庫県認証食品として出荷サイズや生産方法を統一し、生かきの取扱に関する指導要領に基づき徹底した衛生管理を行っている。また、収穫されたカキの内、殻付きにするものは、表面の付着物を削ぎ取り、カゴに入れて再び海に戻し、更に成長させるなど品質にこだわった生産方法を行っている。今後も、高品質で価格形成力の高い出荷体制に必要な整備を行う。

##### ② ノリの輸出

- ・ JF兵庫漁連と子会社の(株)東海屋が中心となり、県内ノリ養殖漁業者が生産したノリを用いて、北米やEU、ブラジル等への輸出に向けて、加工場の整備等に関する検討の上、整備し、海外への販路拡大を図る。

##### ③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及

- ・ ノリ生産における品質の向上及び統一化を図るため、県内ノリ養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、ノリ生産加工衛生マニュアルの検討及び作成を行い、県内ノリ養殖漁業者に対して普及を図る。
- ・ 美味しいノリ(むかしノリ)の生産方法のマニュアル化に向けて検討及び作成を行い、普及を図る。

##### 【機能再編・競争力強化】

##### ④ ノリ養殖の持続的発展を目指した対策の推進

- ・ 県内養殖関係JF及びJF兵庫漁連、兵庫県等が連携し、安定した経営体制づくりに向けて協業化や共同利用施設及び機器等の導入を推進するとともに、空き漁場の有効活用を推進し、持続的発展を目指した対策を協議及び実施する。
- ・ 県内ノリ養殖漁業者がノリの種(糸状体)の育苗や採苗等に利用しているJF兵庫漁連のり研究所の施

設について、施設の統合を検討の上、必要な施設を整備し、品質の安定化、作業の効率化及び施設の老朽化対策を図る。

⑤ カキ養殖の持続的発展を目指した対策の推進

- ・ 安定して種苗を確保する体制を整えるため、県内カキ養殖関係 J F 及び J F 兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、自家採苗技術の普及を進める。
- ・ 漁場環境を悪化させることなく、高品質なカキを引き続き生産するため、適正な養殖密度を守った養殖を推進するとともに、漁場環境の保全に必要な対策を実施する。

⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討

- ・ 県内養殖関係 J F 及び J F 兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、アサリ、カキ、ワカメ、ヒジキ、ローカルサーモン等の新たな養殖の実施に向けて検討や試験的な実施を行い、試験結果の普及を図る。

⑦ 競争力強化に向けた取組

- ・ 共同化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。
- ・ 生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入や漁業施設の整備・改修を検討する。
- ・ 漁業者等が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。
- ・ 操業コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善のほか、燃油価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。
- ・ その他、競争力強化に関する取組を行う。

【漁場環境改善】

⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組

- ・ 各 J F 単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。
- ・ 豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、“藻場等の再生”や、山・川・海のつながりを考慮した“ため池のかいぼり”や“下水処理場等からの栄養塩管理運転の推進”、“森づくり”等について検討し、実施する。
- ・ 特に、ノリの色落ち対策として、農漁業者の連携による“ため池のかいぼり”や“下水処理場等からの栄養塩管理運転の推進”等に加えて、海域の攪拌等による底層栄養塩の利活用について検討し、実施する。

2. 機能分担・連携に関する基本方針

上架施設、燃料補給施設や養殖資材倉庫といった共同利用施設について、各地の機能分担等に基づき、より効率的な利用を図るための整備の検討を行う。

(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

① 大輪田塾等による研修の実施

- ・ 県内漁業関係者（漁業者及び J F 系統団体職員）を対象に、幅広い視野を持った将来の水産業界をリードしていく人材育成を行うことを目的とする“大輪田塾”や研修会等を実施し、本県水産業の中核的担い手を養成する。

② 新規漁業就業者の育成

- ・ 新規漁業就業者総合支援事業（国庫補助）や漁業就業者ステップアップ事業（県単補助）等を活用し、新規漁業就業者の確保に努める。

③ 漁船の更新

- ・ 本プランに基づく中核的漁業者が所得向上に取り組むため、浜の担い手漁船リース緊急事業（国庫補助）、漁船施設貸与事業（県単補助）を活用し、リース方式により必要な中古漁船又は新造漁船の導入を図る。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

各漁協単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。

(4) 具体的な取組内容(年度ごとに数値目標とともに記載)

1年目(平成28年度)

取組内容	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><b>①-1 ノリやかき等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県内養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやかき等の水産加工品をJF直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、ノリ関係商社や生協等の量販店に対して積極的にPRし、販売促進・消費拡大を図る。</li><li>・ 県内養殖関係JF及びJF兵庫漁連が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやかき等の水産加工品を様々なイベントで消費者等へPRし、消費拡大を図る。</li></ul> <p><b>①-2 ノリやかき等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ノリの消費拡大を図るため、ノリ養殖関係JF及びJF兵庫漁連、(株)東海屋等が連携し、県内ノリ養殖漁業者が生産したノリを用いて、ノリの新商品(板ノリ加工品、生ノリ原料加工品、干ノリ原料加工品)の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li><li>・ カキの消費拡大を図るため、カキ養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、県内カキ養殖漁業者が生産したカキを用いて、カキの新商品(カキの加工品)の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li></ul> <p><b>①-3 価格形成力の高い出荷体制を促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 高品質で価格形成力の高い出荷体制の促進に向け、カキ洗浄機施設の増設や必要な施設の検討を行う。【2】【3】</li></ul> <p><b>② ノリの輸出 【1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ JF兵庫漁連と子会社の(株)東海屋が中心となり、県内ノリ養殖漁業者が生産したノリを用いて、北米やEU・ブラジル等への輸出に向けて、加工場の整備等に関する検討を行う。【2】【3】</li><li>・ 輸出に向けた基礎調査を行う。</li><li>・ 海外向けに輸出可能なノリ商品について検討する。</li></ul> <p><b>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ノリ生産における品質の向上及び統一化を図るため、県内ノリ養殖関係JF及びJF兵庫漁連等が連携し、ノリ生産加工衛生マニュアルの検討及び作成に向けた基礎調査を行う。</li><li>・ 美味しいノリ(むかしノリ)の生産方法のマニュアル化に向けて検討を行う。</li></ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ ノリ養殖やかき養殖等の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県内養殖関係JF及びJF兵庫漁連、兵庫県等が連携し、安定した経営体制づくりに向けて協業化や共同利用施設及び機器等の導入を推進するとともに、空き漁場の有効活用を推進し、持続的発展を目指した対策を協議及び実施する。</li><li>・ 県内ノリ養殖漁業者がノリの種(糸状体)の育苗や採苗等に利用しているJF兵庫漁連のり研究所の施設について、現在、2か所(明石市南二見地域と淡路市尾崎地域)ある施設の統合を検討の上、必要な施設を整備し、品質の安定化、作業の効率化及び施設の老朽化対策を図る。</li></ul> <p><b>⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県内カキ養殖関係JF及びJF兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、西播地区における自家採苗技術の普及、推進を行う。</li></ul> <p><b>⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県内養殖関係JF及びJF兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、アサリ、カキ、ワカメ、ヒジキ、ローカルサーモン等の新たな養殖の実施に向けて検討や試験的な実施を行い、試験結果の普及を図る。</li></ul>
------	---

	<p>⑦ <u>競争力強化に向けた取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。</li> <li>・ 燃油価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【9】</li> <li>・ 生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入や漁業施設の整備・改修を検討する。【10】【11】</li> <li>・ 漁業者等が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【12】</li> <li>・ 操業コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。【13】</li> <li>・ その他、競争力強化に関する取組を行う。</li> </ul> <p>【漁場環境改善】</p> <p>⑧ <u>資源管理や漁場環境の改善に関する取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各JF単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】</li> <li>・ 豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場等の再生や、山・川・海のつながりを考慮した“ため池のかいぼり”や“下水処理場等からの栄養塩管理運転”“森づくり”等について検討し、実施する。【5】【6】</li> <li>・ 海域の貧栄養化（栄養塩の不足）によって頻発しているノリの色落ち対策として、海域への栄養塩供給の方法について検討を行う。</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>⑨ <u>中核的担い手の育成・確保に関する取組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国や県による新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などの競争力強化事業を活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。【7】【8】【9】【10】【11】</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>【0】 広域浜プラン緊急対策事業、【1】 水産物輸出拡大緊急対策事業、【2】 強い水産業づくり交付金（産地水産業強化支援事業、水産業強化対策事業、ノリ競争力強化対策事業）、【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業、【4】 資源管理体制推進事業、【5】 水産多面的機能発揮対策事業、【6】 漁場環境・生物多様性保全総合対策事業、【7】 新規漁業就業者総合支援事業、【8】 漁業収入安定対策事業、【9】 漁業経営セーフティーネット構築事業、【10】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、【11】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業、【12】 水産業競争力強化金融支援事業、【13】 効率的な操業体制の確立支援</p>

取組 内容	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><b>①-1 ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやカキ等の水産加工品をＪＦ直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、ノリ関係商社や生協等の量販店に対して積極的にＰＲし、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやカキ等の水産加工品を様々なイベントで消費者等へＰＲし、消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>①-2 ノリやカキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノリの消費拡大を図るため、ノリ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、(株)東海屋等が連携し、県内ノリ養殖漁業者が生産したノリを用いて、ノリの新商品（板ノリ加工品、生ノリ原料加工品、干ノリ原料加工品）の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li> <li>・ 特に、ノリを使った新商品（お菓子等）開発を行う。</li> <li>・ カキの消費拡大を図るため、カキ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、県内カキ養殖漁業者が生産したカキを用いて、カキの新商品（カキの加工品）の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li> <li>・ 特に、カキを使った新商品（カキ飯の素、カキのムニエル等）の開発に取り組む。</li> </ul> <p><b>①-3 価格形成力の高い出荷体制を促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高品質で価格形成力の高い出荷体制の促進に必要な、カキ洗浄機施設等の整備を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><b>② ノリの輸出 【1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ＪＦ兵庫漁連と子会社の(株)東海屋が中心となり、県内ノリ養殖漁業者が生産したノリを用いて、北米やＥＵ・ブラジル等への輸出に向けて、輸出可能な加工場について検討、設計を行い、整備する。【2】【3】</li> <li>・ 整備した加工場で製造したノリ商品を用いて輸出に向けた試験販売を行う。</li> <li>・ 輸出に向けた基礎調査を行う。</li> <li>・ 海外向けに輸出可能なノリ商品について検討する。</li> </ul> <p><b>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノリ生産における品質の向上及び統一化を図るため、県内ノリ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、ノリ生産加工衛生マニュアルの検討及び作成に向けた基礎調査を行う。</li> <li>・ 美味しいノリ（むかしノリ）の生産方法のマニュアル化に向けて検討を行う。</li> </ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ ノリ養殖やカキ養殖等の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県等が連携し、安定した経営体制づくりに向けて協業化や共同利用施設及び機器等の導入を推進するとともに、空き漁場の有効活用を推進し、持続的発展を目指した対策を協議及び実施する。</li> <li>・ 県内ノリ養殖漁業者がノリの種（糸状体）の育苗や採苗等に利用しているＪＦ兵庫漁連のり研究所の施設について、現在、2か所（明石市南二見地域と淡路市尾崎地域）ある施設の統合を検討の上、必要な施設を整備し、品質の安定化、作業の効率化及び施設の老朽化対策を図る。</li> </ul> <p><b>⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内カキ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、西播地区における自家採苗技術の普及、推進を行う。</li> </ul> <p><b>⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、アサリ、カキ、ワカ</li> </ul>
----------	--

	<p>メ、ヒジキ、ローカルサーモン等の新たな養殖の実施に向けて検討や試験的な実施を行い、試験結果の普及を図る。</p> <p>⑦ 競争力強化に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。</li> <li>・ 燃油価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【9】</li> <li>・ 生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入や漁業施設の整備・改修を行う。【10】【11】</li> <li>・ 漁業者等が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【12】</li> <li>・ 操業コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。【13】</li> <li>・ その他、競争力強化に関する取組を行う。</li> </ul> <p>【漁場環境改善】</p> <p>⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各JF単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】</li> <li>・ 豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場等の再生や、山・川・海のつながりを考慮した“ため池のかいぼり”や“下水処理場等からの栄養塩管理運転”“森づくり”等について検討し、実施する。【5】【6】</li> <li>・ 海域の貧栄養化（栄養塩の不足）によって頻発しているノリの色落ち対策として、海域への栄養塩供給の方法について検討を行う。</li> <li>・ 特に、栄養塩供給の方法については、ノリ漁場付近の海底に溜まった栄養塩を巻き上げる方法等について検討する。</li> <li>・ ノリ漁場付近の海底に溜まった栄養塩の巻き上げ機の開発に向けて検討する。</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>⑨ 中核的担い手の育成・確保に関する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国や県による新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などの競争力強化事業を活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。【7】【8】【9】【10】【11】</li> </ul>
<p>活用 する 支援 措置 等</p>	<p>【0】 広域浜プラン緊急対策事業、【1】 水産物輸出拡大緊急対策事業、【2】 強い水産業づくり交付金（産地水産業強化支援事業、水産業強化対策事業、ノリ競争力強化対策事業）、【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業、【4】 資源管理体制推進事業、【5】 水産多面的機能発揮対策事業、【6】 漁場環境・生物多様性保全総合対策事業、【7】 新規漁業就業者総合支援事業、【8】 漁業収入安定対策事業、【9】 漁業経営セーフティーネット構築事業、【10】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、【11】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業、【12】 水産業競争力強化金融支援事業、【13】 効率的な操業体制の確立支援</p>

<p>取組 内容</p>	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><b>①ー1 ノリやカキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやカキ等の水産加工品をＪＦ直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、ノリ関係商社や生協等の量販店に対して積極的にＰＲし、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやカキ等の水産加工品を様々なイベントで消費者等へＰＲし、消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>①ー2 ノリやカキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノリの消費拡大を図るため、ノリ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、㈱東海屋等が連携し、県内ノリ養殖漁業者が生産したノリを用いて、ノリの新商品（板ノリ加工品、生ノリ原料加工品、干ノリ原料加工品）の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li> <li>・ 開発したノリを使ったお菓子の試験販売、販売促進を行う。</li> <li>・ 特に、コンビニ向けに美味しいノリ（むかしノリ）のＰＲ、試験販売を行う。</li> <li>・ カキの消費拡大を図るため、カキ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、県内カキ養殖漁業者が生産したカキを用いて、カキの新商品（カキの加工品）の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li> <li>・ 開発したカキを使った新商品（カキ飯の素、カキのムニエル等）の試験販売、販売促進を行う。</li> </ul> <p><b>①ー3 価格形成力の高い出荷体制を促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高品質で価格形成力の高い出荷体制の促進に向け、必要な施設の検討を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><b>② ノリの輸出 【1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備した加工場で製造したノリ商品を用いて輸出に向けた試験販売を行う。</li> <li>・ 輸出に向けた基礎調査を行う。</li> <li>・ 海外向けに輸出可能なノリ商品について検討する。</li> </ul> <p><b>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノリ生産における品質の向上及び統一化を図るため、県内ノリ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、ノリ生産加工衛生マニュアルの検討及び作成に向けた基礎調査を行う。</li> <li>・ 美味しいノリ（むかしノリ）の生産方法のマニュアル化に向けて検討を行う。</li> </ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ ノリ養殖やカキ養殖等の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県等が連携し、安定した経営体制づくりに向けて協業化や共同利用施設及び機器等の導入を推進するとともに、空き漁場の有効活用を推進し、持続的発展を目指した対策を協議及び実施する。</li> <li>・ 県内ノリ養殖漁業者がノリの種（糸状体）の育苗や採苗等に利用しているＪＦ兵庫漁連のり研究所の施設について、現在、2か所（明石市南二見地域と淡路市尾崎地域）ある施設の統合を検討の上、必要な施設を整備し、品質の安定化、作業の効率化及び施設の老朽化対策を図る。</li> </ul> <p><b>⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内カキ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、西播地区における自家採苗技術の普及、推進を行う。</li> </ul> <p><b>⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、アサリ、カキ、ワカメ、ヒジキ、ローカルサーモン等の新たな養殖の実施に向けて検討や試験的な実施を行い、試験結果の普及を図る。</li> </ul>
------------------	---

	<p>⑦ 競争力強化に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。</li> <li>・ 燃油価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【9】</li> <li>・ 生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入や漁業施設の整備・改修を検討する。【10】【11】</li> <li>・ 漁業者等が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【12】</li> <li>・ 操業コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。【13】</li> <li>・ その他、競争力強化に関する取組を行う。</li> </ul> <p>【漁場環境改善】</p> <p>⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各JF単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】</li> <li>・ 豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場等の再生や、山・川・海のつながりを考慮した“ため池のかいぼり”や“下水処理場等からの栄養塩管理運転”“森づくり”等について検討し、実施する。【5】【6】</li> <li>・ 海域の貧栄養化（栄養塩の不足）によって頻発しているノリの色落ち対策として、海域への栄養塩供給の方法について検討を行う。</li> <li>・ 特に、栄養塩供給の方法については、ノリ漁場付近の海底に溜まった栄養塩を巻き上げる方法等について検討する。</li> <li>・ ノリ漁場付近の海底に溜まった栄養塩の巻き上げ機を開発し、試験的な実施を行う。</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>⑨ 中核的担い手の育成・確保に関する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国や県による新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などの競争力強化事業を活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。【7】【8】【9】【10】【11】</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>【0】 広域浜プラン緊急対策事業、【1】 水産物輸出拡大緊急対策事業、【2】 強い水産業づくり交付金（産地水産業強化支援事業、水産業強化対策事業、ノリ競争力強化対策事業）、【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業、【4】 資源管理体制推進事業、【5】 水産多面的機能発揮対策事業、【6】 漁場環境・生物多様性保全総合対策事業、【7】 新規漁業就業者総合支援事業、【8】 漁業収入安定対策事業、【9】 漁業経営セーフティーネット構築事業、【10】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、【11】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業、【12】 水産業競争力強化金融支援事業、【13】 効率的な操業体制の確立支援</p>

取組 内容	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><b>①-1 ノリやかキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやかキ等の水産加工品をＪＦ直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、ノリ関係商社や生協等の量販店に対して積極的にＰＲし、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやかキ等の水産加工品を様々なイベントで消費者等へＰＲし、消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>①-2 ノリやかキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノリの消費拡大を図るため、ノリ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、(株)東海屋等が連携し、県内ノリ養殖漁業者が生産したノリを用いて、ノリの新商品（板ノリ加工品、生ノリ原料加工品、干ノリ原料加工品）の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li> <li>・ 特に、コンビニ向けに美味しいノリ（むかしノリ）のＰＲ、試験販売を行う。</li> <li>・ ノリ共販における美味しいノリ（むかしノリ）の規格づくりを検討する。</li> <li>・ カキの消費拡大を図るため、カキ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、県内カキ養殖漁業者が生産したカキを用いて、カキの新商品（カキの加工品）の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li> <li>・ 開発したカキを使った新商品（カキ飯の素、カキのムニエル等）の試験販売、販売促進を行う。</li> </ul> <p><b>①-3 価格形成力の高い出荷体制を促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高品質で価格形成力の高い出荷体制の促進に向け、必要な施設の検討を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><b>② ノリの輸出 【1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備した加工場で製造したノリ商品を用いて輸出に向けた試験販売を行う。</li> <li>・ 輸出に向けた基礎調査を行う。</li> <li>・ 海外向けに輸出可能なノリ商品について検討する。</li> </ul> <p><b>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノリ生産における品質の向上及び統一化を図るため、県内ノリ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、ノリ生産加工衛生マニュアルの検討及び作成に向けた基礎調査を行う。</li> <li>・ ノリ生産加工衛生マニュアルの内容について検討し、作成する。</li> <li>・ 美味しいノリ（むかしノリ）の生産方法のマニュアル化に向けて検討を行う。</li> <li>・ 美味しいノリ（むかしノリ）の生産方法のマニュアルの作成を行う。</li> </ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ ノリ養殖やかキ養殖等の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県等が連携し、安定した経営体制づくりに向けて協業化や共同利用施設及び機器等の導入を推進するとともに、空き漁場の有効活用を推進し、持続的発展を目指した対策を協議及び実施する。</li> <li>・ 県内ノリ養殖漁業者がノリの種（糸状体）の育苗や採苗等に利用しているＪＦ兵庫漁連のり研究所の施設について、現在、2か所（明石市南二見地域と淡路市尾崎地域）ある施設の統合を検討の上、必要な施設を整備し、品質の安定化、作業の効率化及び施設の老朽化対策を図る。</li> </ul> <p><b>⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内カキ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、西播地区における自家採苗技術の普及、推進を行う。</li> </ul> <p><b>⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、アサリ、カキ、ワカ</li> </ul>
----------	---

	<p>メ、ヒジキ、ローカルサーモン等の新たな養殖の実施に向けて検討や試験的な実施を行い、試験結果の普及を図る。</p> <p>⑦ 競争力強化に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。</li> <li>・ 燃油価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【9】</li> <li>・ 生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入や漁業施設の整備・改修を検討する。【10】【11】</li> <li>・ 漁業者等が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【12】</li> <li>・ 操業コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。【13】</li> <li>・ その他、競争力強化に関する取組を行う。</li> </ul> <p>【漁場環境改善】</p> <p>⑧ 資源管理や漁場環境の改善に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各JF単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】</li> <li>・ 豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場等の再生や、山・川・海のつながりを考慮した“ため池のかいぼり”や“下水処理場等からの栄養塩管理運転”“森づくり”等について検討し、実施する。【5】【6】</li> <li>・ 海域の貧栄養化（栄養塩の不足）によって頻発しているノリの色落ち対策として、海域への栄養塩供給の方法について検討を行う。</li> <li>・ 特に、栄養塩供給の方法については、ノリ漁場付近の海底に溜まった栄養塩を巻き上げる方法等について検討する。</li> <li>・ ノリ漁場付近の海底に溜まった栄養塩の巻き上げ機を開発し、試験的な実施を行う。</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>⑨ 中核的担い手の育成・確保に関する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国や県による新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などの競争力強化事業を活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。【7】【8】【9】【10】【11】</li> </ul>
<p>活用 する 支援 措置 等</p>	<p>【0】 広域浜プラン緊急対策事業、【1】 水産物輸出拡大緊急対策事業、【2】 強い水産業づくり交付金（産地水産業強化支援事業、水産業強化対策事業、ノリ競争力強化対策事業）、【3】 水産業競争力強化緊急施設整備事業、【4】 資源管理体制推進事業、【5】 水産多面的機能発揮対策事業、【6】 漁場環境・生物多様性保全総合対策事業、【7】 新規漁業就業者総合支援事業、【8】 漁業収入安定対策事業、【9】 漁業経営セーフティーネット構築事業、【10】 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、【11】 競争力強化型機器等導入緊急対策事業、【12】 水産業競争力強化金融支援事業、【13】 効率的な操業体制の確立支援</p>

取組 内容	<p><b>【流通販売強化】 【0】</b></p> <p><b>①-1 ノリやかキ等の流通促進・消費拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやかキ等の水産加工品をＪＦ直売所等で消費者への販売促進を図るとともに、ノリ関係商社や生協等の量販店に対して積極的にＰＲし、販売促進・消費拡大を図る。</li> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連が連携し、県内養殖漁業者が生産したノリやかキ等の水産加工品を様々なイベントで消費者等へＰＲし、消費拡大を図る。</li> </ul> <p><b>①-2 ノリやかキ等の新商品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノリの消費拡大を図るため、ノリ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、(株)東海屋等が連携し、県内ノリ養殖漁業者が生産したノリを用いて、ノリの新商品（板ノリ加工品、生ノリ原料加工品、干ノリ原料加工品）の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li> <li>・ ノリ共販における美味しいノリ（むかしノリ）の規格づくりを検討する。</li> <li>・ カキの消費拡大を図るため、カキ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連等が連携し、県内カキ養殖漁業者が生産したカキを用いて、カキの新商品（カキの加工品）の開発に取り組むとともに試験販売を行う。</li> <li>・ 開発したカキを使った新商品（カキ飯の素、カキのムニエル等）の試験販売、販売促進を行う。</li> </ul> <p><b>①-3 価格形成力の高い出荷体制を促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高品質で価格形成力の高い出荷体制の促進に向け、必要な施設の検討を行う。【2】【3】</li> </ul> <p><b>② ノリの輸出 【1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備した加工場で製造したノリ商品を用いて輸出に向けた試験販売を行う。</li> <li>・ 輸出に向けた基礎調査を行う。</li> <li>・ 海外向けに輸出可能なノリ商品について検討する。</li> </ul> <p><b>③ ノリ生産加工衛生マニュアル等の作成と普及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成したノリ生産加工衛生マニュアルを県内ノリ養殖漁業者に対して普及を図る。</li> <li>・ 作成した美味しいノリ（むかしノリ）の生産方法のマニュアルを県内ノリ養殖漁業者に対して普及を図る。</li> </ul> <p><b>【機能再編、競争力強化】</b></p> <p><b>④ ノリ養殖やかキ養殖等の持続的発展を目指した対策の推進 【2】【3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県等が連携し、安定した経営体制づくりに向けて協業化や共同利用施設及び機器等の導入を推進するとともに、空き漁場の有効活用を推進し、持続的発展を目指した対策を協議及び実施する。</li> <li>・ 県内ノリ養殖漁業者がノリの種（糸状体）の育苗や採苗等に利用しているＪＦ兵庫漁連のり研究所の施設について、現在、2か所（明石市南二見地域と淡路市尾崎地域）ある施設の統合を検討の上、必要な施設を整備し、品質の安定化、作業の効率化及び施設の老朽化対策を図る。</li> </ul> <p><b>⑤ カキ養殖の自家採苗技術の普及、推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内カキ養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、西播地区における自家採苗技術の普及、推進を行う。</li> </ul> <p><b>⑥ 新たな養殖の実施に向けた検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内養殖関係ＪＦ及びＪＦ兵庫漁連、兵庫県水産技術センター等が連携し、アサリ、カキ、ワカメ、ヒジキ、ローカルサーモン等の新たな養殖の実施に向けて検討や試験的な実施を行い、試験結果の普及を図る。</li> </ul>
----------	--

	<p>⑦ <u>競争力強化に向けた取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同化を核とした効率的な操業体制の確立に取り組む。</li> <li>・ 燃油価格の急騰時の備えとして、漁業経営セーフティーネット構築事業の推進を図る。【9】</li> <li>・ 生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入や漁業施設の整備・改修を検討する。【10】【11】</li> <li>・ 漁業者等が近代化資金を活用する場合、実質無利子化や無担保・無保証人等で負担軽減を図る。【12】</li> <li>・ 操業コスト削減のため、統一的な航行規制や船底状態の改善を図る。【13】</li> <li>・ その他、競争力強化に関する取組を行う。</li> </ul> <p>【漁場環境改善】</p> <p>⑧ <u>資源管理や漁場環境の改善に関する取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各JF単位で養殖種類ごとに策定した漁場改善計画に基づき、適切な漁場管理を実施する。【4】</li> <li>・ 豊かな海づくりに向けて、兵庫県広域水産業再生委員会瀬戸内海漁船漁業広域部会と連携して、藻場等の再生や、山・川・海のつながりを考慮した“ため池のかいぼり”や“下水処理場等からの栄養塩管理運転”“森づくり”等について検討し、実施する。【5】【6】</li> <li>・ 海域の貧栄養化（栄養塩の不足）によって頻発しているノリの色落ち対策として、海域への栄養塩供給の方法について検討を行う。</li> <li>・ 特に、栄養塩供給の方法については、ノリ漁場付近の海底に溜まった栄養塩を巻き上げる方法等について検討する。</li> <li>・ 開発した栄養塩の巻き上げ機の実用化に向けて検討する。</li> </ul> <p>【中核的担い手】</p> <p>⑨ <u>中核的担い手の育成・確保に関する取組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国や県による新規漁業者の就労支援事業や漁船リース事業などの競争力強化事業を活用するとともに、経営能力の向上に繋がる研修等の支援を行い、地域漁業の担い手となる中核的担い手の育成・確保に努める。【7】【8】【9】【10】【11】</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>【0】広域浜プラン緊急対策事業、【1】水産物輸出拡大緊急対策事業、【2】強い水産業づくり交付金（産地水産業強化支援事業、水産業強化対策事業、ノリ競争力強化対策事業）、【3】水産業競争力強化緊急施設整備事業、【4】資源管理体制推進事業、【5】水産多面的機能発揮対策事業、【6】漁場環境・生物多様性保全総合対策事業、【7】新規漁業就業者総合支援事業、【8】漁業収入安定対策事業、【9】漁業経営セーフティーネット構築事業、【10】水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、【11】競争力強化型機器等導入緊急対策事業、【12】水産業競争力強化金融支援事業、【13】効率的な操業体制の確立支援</p>

(5) 関係機関との連携

【流通販売強化】

- ・ コープこうべ等の量販店や小売店との連携を強化し、定期的な水産物販売日の設定やスーパーの店舗内での対面販売などに取り組み、養殖ノリなどの県産水産物の認知度向上と消費拡大を図る。
- ・ 漁協、漁連、農協の連携を強化し、JA ファーマーズショップへの販売促進を図る。
- ・ 県漁連、県水産課、県教育委員会、学校給食センター、コープこうべなどが参画する協議会等の活用により、学校給食への活用、小中学生への魚食普及、消費者ニーズに対応した新規加工品などの検討を進める。

【機能再編、競争力強化】

- ・ 国内外の市場での価格競争力を高めるため、研究機関と連携を図り、生産技術の改良や新たな養殖魚種の開発に取り組み、県産の養殖水産物のブランド化を進める。

【漁場環境改善】

- ・ 瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生することを目指して、漁協、農協、土地改良組合などが連携して取り組んでいる「ため池のかいぼり」や、沿海市町の下水処理場で冬季を中心に行われている「栄養塩管理運転」の取組を推進する。
- ・ 瀬戸内法の改正により、県が策定する「瀬戸内海の環境保全に関する兵庫県計画」について、協議会に参画し、施策等の進捗状況の点検等を行う。

【中核的担い手】

- ・ 漁協、県普及員、研究機関等との連携により、経営能力や漁労技術の向上に必要な情報を漁業者に発信するとともに、研修会参加等の支援を行う。

(6) 他産業との連携

- ・ 農林漁業者と食品産業、商工業、医療、福祉、観光など様々な分野の事業者、大学などの研究者が交流・連携し県産農林水産物を活用した新たな商品、サービスの開発や創造的な事業活動を支援する「農イノベーションひょうご」に参画し、異業種との交流に取り組む。

4 成果目標

(1) 成果目標の考え方

- ・ 養殖業の収入向上のためには、幅広い世代への魚食普及と同時に養殖水産物の魅力を発信し消費拡大に繋げていく必要があることから、「①新商品の開発」を成果目標として設定する。
- ・ また、持続的な養殖業の振興を図るためには、ノリ柵数やカキ筏数などの適正管理とともに栄養塩濃度に着目した取組も必要なため、「②漁場環境の改善」として栄養塩管理運転の実施箇所を成果目標として設定する。
- ・ さらに、これらの取組を客観的に見るために、公的な統計データによる「③養殖ノリ生産金額」、「④養殖カキ生産金額」を成果目標値として設定する。
- ・ 漁業者の減少と高齢化が進む中で世代交代を円滑に進めるため、意欲ある若手漁業者の確保と育成を目指し、「⑤新規就業者の確保」を成果目標として設定する。

(2) 成果目標

①新商品開発による消費拡大	基準年	平成27年度：52品目 ノリ23品目、カキ29品目
	目標年	平成32年度：62品目（累計数） ノリ28品目、カキ34品目
②漁場環境の改善（栄養塩管理運転の取組拡大）	基準年	平成27年度：16箇所
	目標年	平成32年度：18箇所
③養殖ノリ生産金額	基準年	平成16～25年度の平均値：119億円
	目標年	平成32年度：120億円（現状維持）

④養殖カキ生産金額	基準年	平成25年度：23億円
	目標年	平成32年度：30億円
⑤新規就業者数	基準年	平成17～26年度の平均値：39人
	目標年	平成32年度：39人（現状維持）

(3) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>①新商品開発による消費拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年は、兵庫県漁連、漁協などで開発されたノリ、カキの加工品のうち、H27年度時点でひょうご食品認証制度を活用している商品やコープこうべ、イオン等の大型スーパー等で販売されている商品の数を基準に用いた。</li> <li>・目標年については、ノリ、カキの新商品を1品目／年の割合で増加させる設定とした。</li> </ul> <p>②漁場環境の改善（栄養塩管理運転の取組拡大）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養塩管理運転は、海域に放流する下水処理水中の栄養塩濃度を排水基準の枠内で調整するもので、県内では主にノリ養殖期において、海域への栄養塩供給対策としてH20年から実施している。国では、豊かな海づくりなどの社会的な要請に応えるために、ノリ養殖や漁業などに課題が生じている海域で処理レベルを季節的に変化させる「栄養塩類増加運転」を推進している。</li> <li>・基準年については、H27年度時点における栄養塩管理運転の実施箇所数を用いた。</li> <li>・目標年については、栄養塩管理運転が実施されていない海域での新規取組として2箇所設定した。</li> </ul> <p>③養殖ノリ生産金額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年については、兵庫県農林水産統計の養殖ノリ生産金額(H16～25年度)の平均値を用いた。</li> <li>・目標年については、「浜の活力再生プラン」及び「浜の活力再生広域プラン」による漁業収入向上のための取組、漁場環境改善の取組等により現状維持を図ることとした。</li> </ul> <p>④養殖カキ生産金額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年については、H25年兵庫県農林水産統計の養殖カキ生産金額を用いた。</li> <li>・目標年については、カキ養殖業のすう勢のほか、「浜の活力再生プラン」及び「浜の活力再生広域プラン」による漁業収入向上のための取組等により、今後5年間で生産金額1.5億円／年の伸張を見込み、目標値を設定した。</li> </ul> <p>⑤新規就業者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年については、兵庫県による新規就業者数調査(H17～26年度)の平均値を用いた。</li> <li>・目標年については、就労支援事業等の活用により新規就業者の確保に努め現状維持を図ることとした。</li> <li>・漁船漁業と養殖業の複合経営を想定し、両者を区分せず包含した数値とした。</li> </ul>
--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
広域浜プラン緊急対策事業	収入向上等の実証的な取組の推進
水産物輸出拡大緊急対策事業	流通販売体制等の強化
強い水産業づくり交付金(産地水産業強化支援事業)	流通販売体制等の強化及び基盤整備の推進
強い水産業づくり交付金(水産業強化対策事業)	〃
強い水産業づくり交付金(ノリ競争力強化対策事業)	〃
水産業競争力強化緊急施設整備事業	〃
資源管理体制推進事業	資源管理型漁業の推進
水産多面的機能発揮対策事業	漁場環境の改善
漁場環境・生物多様性保全総合対策事業	〃
新規漁業就業者総合支援事業	中核的担い手の確保、競争力の強化
漁業収入安定対策事業	〃

漁業経営セーフティネット構築事業	〃
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業	〃
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	〃
水産業競争力強化金融支援事業	〃
効率的な操業体制の確立支援	〃